

2025年2月21日
一般社団法人 くすりの適正使用協議会

くすりのしおりデータベースに対するサイバー攻撃について 【調査結果および再発防止策】

一般社団法人 くすりの適正使用協議会(理事長:俵木 登美子)(以下協議会)は、2024年12月末に当協議会のくすりのしおりデータベースに対して行われたサイバー攻撃に関する調査結果、および実施した再発防止策について下記の通りご報告いたします。

なお、同サイバー攻撃によって停止していた『くすりのしおりミルシルサイト』(<https://www.rad-ar.or.jp/siori/>)の閲覧サービス、および『くすり教育-担当者のための教材サイト』(<https://www.rad-are.com/>、以下くすり教育サイト)でのダウンロード機能については、既報のとおり1月17日に再開しています(2025年1月17日付プレスリリース)。

利用者、関係者の皆様には、大変なご不便・ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

1. 調査結果

(1) 経緯と概要

サイバー攻撃の発生と復旧までの経緯の概要は以下のとおりです。

- ✓ 2024年12月29日16時17分、くすりのしおりミルシルサイトから侵入され、くすりのしおりデータベースが改ざんされた。
- ✓ 翌30日22時35分、当協議会職員がくすりのしおりミルシルサイトの製品名欄に不正な記載を発見し、システム管理会社に連絡。具体的には、くすりのしおりミルシルサイトにおいて、くすりのしおりの製品名と患者向け資材の資材名に外部不正サイトを示すテキストが付記されていた。該当箇所をクリックしても外部不正サイトへの誘導は行われなかったことを確認。
- ✓ 翌31日午前1時頃、くすりのしおりミルシルサイトを含めたくすりのしおり関連システムをすべて停止し、さらにくすり教育サイトでの教材ダウンロード機能を停止。
- ✓ 調査の結果、くすりのしおりデータベースにおいて、製品名、資材名以外の複数個所に同じ不正なテキストが挿入され改ざんされていることを確認。また、サーバーへの不正侵入、ログの改ざん、情報漏洩はないことを確認。
- ✓ アクセスログおよびソースコードの調査により脆弱性の原因を特定し、プログラムを修正。
- ✓ 2025年1月17日16時30分に、くすりのしおりミルシルサイトを含めたくすりのしおり関連システム、およびくすり教育サイトの復旧を完了し再開。

(2) 原因と攻撃手法

くすりのしおりミルシルサイトの脆弱性が原因で、SQL インジェクションという方法でくすりのしおりデータベースが改ざんされたことが判明しました。

2. 再発防止策

本日までに、くすりのしおりミルシルサイトを含むくすりのしおり関連システム、およびくすり教育サイトに対し、以下の対策を実施しました。

- ✓ くすりのしおりミルシルサイトに対して脆弱性診断を実施し、SQL インジェクション攻撃への脆弱性を有するプログラムを改修
- ✓ その他のくすりのしおり関連システム、およびくすり教育サイトに対しても脆弱性診断を実施し、問題がないことを確認
- ✓ くすりのしおりミルシルサイトを含むくすりのしおり関連システム、およびくすり教育サイトに対し、更なるセキュリティ対策を導入

3. その他

本件につきましては、警察、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)ならびに関係各所に報告済みです。

当協議会は今後、このような事態が発生しないよう、セキュリティ対策および運用の強化に取り組んでまいります。

以上

一般社団法人 くすりの適正使用協議会について

くすりの適正使用協議会は、くすりの適正使用を普及・啓発するために、1989年に創立されました。「誰もが健康な生活を実現するため、信頼できる情報をもとに判断し、行動できる社会を目指す」ことをVISIONに掲げ、様々な会員が活動に参加しています。

医療用医薬品の情報を患者さん向けに分かり易く記載した「くすりのしおり®」や、製薬企業の作成する患者さん向け情報を「くすりのしおりミルシルサイト」で提供しています。

くすりのこと、見る、知るサイト

